

2013

AUTUMN

No. 1

SHODAI GAKUEN

学園広報誌 商大

SHODAI



新第1校舎イメージ

Contents

- 1 新校舎（第7校舎）完成、第一校舎着工に向けて
- 2 学園の近況（創刊にあたり）
理事長あいさつ 法人本部長あいさつ
- 3 高崎商科大学トピックス
人間力を培う高大連携事業「Haul-Aプロジェクト」
- 4 高崎商科大学短期大学部トピックス
「健康・スポーツ・ビューティーコース」スタート！
- 5 高崎商科大学附属高等学校トピックス
附属高校は、大きく変わりました！
- 6 高崎商科大学佐藤幼稚園トピックス
幼稚園がリニューアル！
- 7 平成25年度 学園人事
平成25年度 新任・退任教職員（大学 短大 高校 幼稚園）
- 9 学園財務状況 平成24年度決算報告
- 11 学園情報
- 14 平成25年度 学園カレンダー
- 15 Campus Information

学校法人 高崎商科大学
since 1906

高崎商科大学大学院

高崎商科大学

高崎商科大学短期大学部

高崎商科大学附属高等学校

高崎商科大学佐藤幼稚園

〒370-1214

群馬県高崎市根小屋町741

TEL 027-347-3399

附属高等学校

新校舎（第7校舎）完成、第1校舎着工に向けて

（高等学校の校舎等耐震事業計画について）

法人副部長 二ノ宮 幸生

現在、本学園では、大学・短大・高校・幼稚園に約2,600人の学生・生徒・園児及び教職員が在籍しておりますが、たとえ大規模地震が発生したとしても、その人命や資産が確実に守られるとともに被災による施設や設備の損傷を最小限に止めるためには、建物の高い耐震安全性の確保が必要不可欠となります。

この安全確保の観点から、本学園では、旧耐震基準（昭和56年以前）にて設計された校舎等の耐震性を把握するため、平成19年10月～平成20年1月にわたり耐震診断を実施いたしました。

その結果を踏まえ、さらに優先度、工法、工程、資金計画など様々な検討を重ねて参りました結果、平成24年度より高校校舎2棟（第1校舎・第3校舎）を建替えると共に、Is値（構造耐震指標）「0.7」以上を確保できるよう、高校校舎2棟（第2校舎・第4校舎）と幼稚園園舎1棟の耐震補強工事を行う『校舎等耐震事業計画』が、平成27年度を完成年度としてスタートいたしました。

本事業計画に準じ、平成24年5月から高校第3校舎の建替えとして、第7校舎建築を開始し、平成25年3月に竣工いたしました。現在、教室の一部のほか、新しい図書室や自習室も利用できるようになり、放課後などの空時間には大勢の生徒が利用しております。



平成24年4月 校舎等耐震事業計画 着手前



平成28年3月 校舎等耐震事業計画 完成後のイメージ

【第7校舎】

構造：鉄筋コンクリート・鉄骨造 3階建て

延床面積 1,601.81m²

（登記延床面積 1,587.91m²）

事業費：（設計、電気設備改修費を含む）

4億5千6百万円

また、平成25年8月からは、第7校舎に引き続き第1校舎の改築工事がスタートいたしました。

現在の第1校舎は解体し、新たに下記の新第1校舎を建築いたします。完成は平成26年夏頃を予定しておりますので、来年の秋には新たな校舎が誕生する予定です。

【新第1校舎】

構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 4階建て

延床面積 1,721.55m²

事業費：（設計、仮設建物、弱電切替、引越費を含む）

概算 5億5千万円

なお、第2校舎と第4校舎の耐震補強工事ならびに第3校舎の解体工事は、第1校舎の完成後の平成26年秋から平成28年3月の間に行う予定です。

理事長あいさつ

学校法人高崎商科大学の教職員の方々には、日頃より学園発展の為にそれぞれの部門でお力を発揮して頂き、心より感謝申し上げます。本年平成25年、西暦2013年度を迎えておりますが、学園（高校）は創立満107年を過ぎ108年目に入っており、3年の後には110周年を迎えることとなります。幼稚園は46年目、短大は26年目、大学は12年目、大学院も8年目になりました。

高校の男女共学化・制服の改訂から12年目ですっかり定着いたし、男子の部活動での活躍も目立って参りました。昨年は進学実績も過去最高を記録しました。本年は昨年の第七校舎（図書室・学習室・講義室）の完成に続いて、本館（第一校舎）の改築工事をすすめ、耐震化に加えて施設の充実を図っております。

大学・大学院の卒業生も社会の広い分野で活躍しておりますが、教職課程卒業生の教員としての活躍も目立って来ました。PCDプログラムも3年目を迎え結果が始めておりますし、この度の文部科学省の大学改革実行

学校法人高崎商科大学 理事長
高崎商科大学附属高校 校長

森本 純生
Yoshio Morimoto



プランの「地（知）の拠点整備事業」において、本学の事業計画が県内大学唯一、全国私立大学中の17校として採択されましたことは、地域密着型大学として「地」と「知」の拠点となることを目指す、本学の取り組みと改革意欲を評価されてのこと、早期に地域の再生・活性化の核となることを期待するところであります。

幼稚園は入園希望者も多く、安定した園児数を確保し、ご父母の信頼を集めていますが、国の進めている幼保一元化の進行や幼児教育無償化が検討される中で今後の運営形態を模索しているところであります。

本学園の設置する各学校が、いずれも順調に成果を上げ発展を続けておりますが、それぞれの学校の活動内容についてはお互いに知るチャンスがありませんでしたので、かねてより情報を共有できる学園内広報誌を欲しいと願っておりました。この「学園広報誌－商大－」の創刊が学園の益々の充実・発展につながることを願っております。

法人本部長あいさつ

「学園広報誌－商大－」創刊にあたり

学校法人 高崎商科大学

法人本部長 森本 淳
Jun Morimoto



待望の「学園広報誌－商大－」が創刊の運びとなりました。発刊に際しご尽力ご協力を頂いた関係部署の方々に感謝申し上げます。

さてこの「学園広報誌－商大－」は学校法人高崎商科大学が設置する幼稚園・高等学校・短期大学・大学・大学院の教職員の方々がそれぞれの情報を共有化して学園全体が透明度を増し、一体化して、同じ認識のもとに同じ方向に向かって歩む、つまり「力と方向（ベクトル）」を合わせる事が所期の目的であります。

私は常々それぞれの学校が勉学・スポーツ・クラブ・地域社会などの教育活動に努力し、素晴らしい成果を上

げてきていると思っています。しかしそれらの情報が学園内に十分に伝わっていない事に歯がゆさを感じていました。

また昨今、「情報発信」は「法令順守（コンプライアンス）」・「説明責任（アカウンタビリティ）」・「管理責任（ガバナンス）機能強化」などに並ぶ学校としての重要な使命の一つとなっています。

今後は「学園広報誌－商大－」からの情報をもとに学園内のそれぞれの学校の素晴らしい点や、時には自慢話しも交えて皆様から「利害関係者（ステークホルダー）」の方々に「情報発信」して頂けたらと思っています。そしてそれらの口コミ情報活動からそれぞれの学校が地域の信頼を得て学園の永続的発展に結びつく事を願っています。

学校法人高崎商科大学の末永い発展を祈念して創刊のご挨拶とさせていただきます。

追啓として、この度高崎商科大学が全国の国・公・私立大学及び短大・高専の中から栄誉ある文部科学省「COC地（知）の拠点大学」（県内では本学1校のみ）に採択された朗報をご報告いたします。

大学トピックス

人間力を培う高大連携事業『Haul-Aプロジェクト』

教育・学習支援グループ長 鈴木洋文

会計の能力を活かして社会貢献する人材“職業会計人（公認会計士・税理士・企業会計人・商業科教員）”を育てるための高大連携事業『Haul-Aプロジェクト』は2012年11月にスタートし、現在、高崎商科大学と協定を結んでいる高等学校は22校に上りました。協定校は、北は青森から南は宮崎、鹿児島にまで及び、それぞれの地域で特筆すべき会計教育を実践している名立たる高等学校ばかりです。

この高大連携事業では、商業教育の充実・発展を目指し、高校生の段階からの人材育成を実践しています。その第1弾として、大学卒業レベルと言われるほどの難関資格である日本商工会議所主催の簿記検定1級試験に高校生が合格できるように、大学と高校がタッグを組んで、指導・教育を展開させています。本年8月には、全国から日商簿記1級合格を目指す高校生とその指導者約100名



が高崎商科大学に集結し、それぞれの進捗状況を確認し合い、これからの勉学への意欲を高めるためにエールを送り合う夏合宿が開催されました。合宿では、生活圏の異なる高校生同士が親交を深める場面もあり、3日間という短い期間の中で若者の人間的成長を顕著に見ることができました。

このプロジェクトは、単に会計のスペシャリストを育成することを目的とするのではなく、人間力を兼ね備えた人材を育成することを目的としており、子どもたちの成長に追随して、大人の教育に対する姿勢の在り方も考えさせてくれるものとなっています。大人も子供も成長させてくれるこのプロジェクトは、今後更なる発展を見せることと思います。

また、高崎商科大学では職業会計人を目指す学生向けの特別コースを設定しています。数年後、この学園から公認会計士や税理士、企業会計人、商業科教員が多数輩出されることに皆さんご期待ください。

※Haul-Aプロジェクトは「High school And University Link, for Accounting」の略で、“Haul”は努力して引き上げるという意味です。



夏合宿決起大会・懇親会



夏合宿講義

短期大学部トピックス

「健康・スポーツ・ビューティーコース」スタート！

高崎商科大学短期大学部 学科長 高橋 修

本年度より短期大学部現代ビジネス学科に、「健康・スポーツ・ビューティーコース」が新設されました。上毛新聞（2013年7月8日付、11面）にも取り上げられた、注目の新コースです。

このコースでは、「内からの美、外からの美」をテーマに、スポーツ指導論、スポーツプログラミング論、フィットネス・トレーニング実習などスポーツ系の科目、食生活学、フードコーディネーターなど栄養学系の科目、スキンケアと皮膚科学、メイクテクニック、カラーコーディネーターなどビューティー系の科目と、幅広く学ぶことができます。

学生は、スポーツプログラマー、食生活アドバイザー、フードコーディネーター、色彩検定、日商販売士検定などの資格・検定を取得したうえで、スポーツクラブのスタッフ、健康産業従事者、ビューティーカウンセラーや化粧品販売員など、人々が健康な生活を送れるように適切なアドバイスができる「健康と美のスペシャリスト」を目指します。

化粧品販売員を志望している中沢有理さん（高崎商科大学附属高等学校出身）は、「肌の水分量や弾力、油分を量って、それに合わせたスキンケアを施すなど実践的



担当教員と相談し適切な数値を学びます

なことを学べる」とコースの魅力を語っています。また、スポーツクラブのインストラクターを目指す笠原直緒さん（高崎商科大学附属高等学校出身）は、「筋肉の名前や機能を覚えたり、その人に合わせたスポーツプログラミングの作り方など理論は奥が深い」と学習の成果を実感しています。



フィットネスルームでの実習授業風景



平成25年度 高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 後援会役員

会 長	山 田 富 二	理 事	横 田 英 一
副会長	原 浩 一 郎	理 事	三 浦 文 雄
副会長	酒 井 久 文 (保護者会員)	理 事	渡 辺 幸 雄
理 事	石 塚 美 智 夫	監 事	城 田 克 巳 (保護者会員)
理 事	長 野 幸 國	監 事	山 口 か お る (保護者会員)

附属高校トピックス

附属高校は、大きく変わりました！

高崎商科大学附属高等学校 広報委員長 愛敬浩一

附属高校は、平成23年度から生徒一人ひとりの目標に合わせて2科目6コースに大きく変わりました。主なポイントは次の5つです。

- ①目標に合わせて2学科6コース
- ②「特別進学選抜コース」を新設して、難関国立・難関私大合格を目指します。Z会の個別通信授業と添削講座が無料で受講
- ③普通科は、国際文化コース以外のコースで「一括募集入試」を実施
- ④全科・全コースで男女を募集します
- ⑤学業特待生試験では、手続き時の単願切り替えで合格種別がワンランクアップ

学科名/定員	コース名	将来の進路
普通科 (男女共学) 380名	特別進学選抜コース	難関国立大・難関私大進学を目指す少数精鋭のコース
	特別進学コース	国立大・上位私大進学を目指すコース
	進学コース	部活動と勉強と両立し、大学進学を目指すコース
	国際文化コース	国際体験や海外留学に重点をおき、大学進学を目指すコース
総合ビジネス科 (男女共学) 120名	情報メディアコース	IT教育に重点をおき、系列大学などへの進学も可能なコース
	経理ビジネスコース	簿記会計など商業科目を学習し、資格取得を目指すコース

平成25年度 父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会長	今井敏博 (F3-7)	書記	飯塚公明 (F2-6)
副会長	五十嵐栄子 (F3-1)	書記	青木 準 (学校職員)
副会長	吉原秀忠 (F2-9)	会計	高橋陽子 (F3-7)
副会長	中村純也 (F1-8)	会計	高見澤佳子 (F2-5)
書記	樋口和明 (F3-7)	会計	岩井則和 (学校職員)

■ コースの特色

普通科

●特別進学選抜コース

難関国立大学・難関私立大学に現役合格を目指します。

- ①少人数による徹底指導
- ②難関国立大学対応カリキュラム
- ③Z会映像・添削コース
- ④合宿講座・登校講座

●特別進学コース

国立大学・上位私立大学に現役合格を目指します。

- ①充実した学習指導
- ②国立大学対応カリキュラム
- ③早期受験対策
- ④合宿講座・登校講座

●進学コース

勉強と部活をサポートし、あなたの力を最大限に引き出すバランスのとれたコース。

- ①勉強と部活の両立
- ②総合学習の充実（「環境」「情報」等）
- ③進路別の選択（2年次から文系・理系）

●国際文化コース（留学コース併設）

語学や国際関係を中心に海外の大学も視野に入れ、あなたに適した進路に幅広く対応します。

- ①海外1年間留学（アメリカ、カナダ等 希望者）
- ②留学生の受け入れ
- ③海外修学旅行（シンガポール・マレーシアで異文化体験）
- ④資格にチャレンジ（英検など）
- ⑤サマーキャンプ（ブリティッシュ・ヒルズで英国体験）

総合ビジネス科

●情報メディアコース

- ①情報社会で通用するスペシャリスト育成
- ②初心者も安心して学べる環境
- ③ワンランク上の資格取得
- ④伝統のIT教育

●経理ビジネスコース

- ①ビジネスシーンで通用するスキルの取得
- ②幅広い資格取得
- ③即戦力の育成

両コース共通

- ①資格取得への挑戦
- ②高大連携授業、インターンシップ（職業体験）

佐藤幼稚園トピックス

幼稚園がリニューアル！

園舎・園地の改修工事について

高崎商科大学佐藤幼稚園 園長 中村 登美子

この度、隣接地の購入で幼稚園としての駐車スペース職員駐車場も整備されました。これによって幼稚園の保護者の駐車もスムーズにでき道路の混雑も緩和されます。

また、園の隣に現在建っている家屋も、全面的に改修し、新しく幼稚園の子育て広場、及び父母の会活動の場としても利用できる多目的な建物として生まれ変わろうとしています。

1階は、子育て支援の部屋、2階は、図書室、多目室と予定しております。



外構（舗装・フェンス）工事完成

平成25年度佐藤幼稚園 父母の会本部役員

会長	荻野香奈江	会計	田中利利
副会長	関 真木子 (広報委員長兼任)	広報委員	川口 泉
副会長	速水有里子	教養委員長	鳴海由美
書記	田村美幸	教養委員	松村さとみ
書記	野村礼子	会計監査	阿久澤麻美
会計	渡部美樹	会計監査	永井由佳

幼稚園見学・説明会を終えて

高崎商科大学佐藤幼稚園教務主任 永井 智江

平成26年度入園の幼稚園見学・説明会にはお知り合いの方の紹介やホームページをご覧下さり興味を持たれた方々が多数おいで下さいました。実際に子ども達のがのびと遊んでいる姿を見ていただき、また、心配事など質問にお答えすることで安心して入園できるようにしております。最近、子育て支援で行っております“コアラくらぶ”にも積極的に参加される方が多く親子で幼稚園に慣れ親しんでいただけていることはありがたいです。

また、当幼稚園を卒園した方が保護者になりお子様が入園してきて下さる事は、大変嬉しい事です。これからも、親子で安心して楽しみながら園生活を送れる幼稚園で在りたいと思います。

"コスモスオープンデー"の様子(9/13)

毎年、敬老の日にちなんだ年長組の祖父母をお招きし、子ども達が5月から学んだ茶道でおもてなしです。



平成25年度 学園人事

(新任教職員等の紹介)

新任・退任教職員

大学・大学院	大 学			短期大学部
専任講師	特任講師	特任講師	兼任講師	特任講師
仁平京子 広告論・市場調査論 商学総論・広告特論 マーケティング総論	日野勝吾 行政職特別演習Ⅰ・Ⅱ	横田昌彦 簿記特別演習	熊倉浩靖 群馬の歴史と文化	入江由香子 スポーツプログラミング論 スポーツ医学他
兼任講師	兼任講師	兼任講師	特任講師	兼任講師
齊藤静一 流通情報システム論 流通情報特論 他	櫻井清人 商業科教育法Ⅰ・Ⅱ	中村彰良 管理会計論	大沼博靖 スポーツ社会学、コーチン グ論とトレーニング科学他	田中恵子 ヘアメイク

学校法人高崎商科大学 平成25年度 理事・評議員・監事

理事長・評議員	森本純生	評議員	吉田広二郎
理事・評議員	森本 淳	評議員	蟻川順子
理事・評議員	中村登美子	評議員	金井 誠
理事・評議員	淵上勇次郎	評議員	竹上 健
理事・評議員	山田富二	評議員	高橋 修
理事・評議員	中島順子	評議員	山端耕之
理事・評議員	金井可佐夫	評議員	二ノ宮幸生
監 事	黒崎千代子	評議員	鰐淵一夫
監 事	堤 宏		

平成25年度 教職員数一覧 (平成25年4月1日現在)

	法人本部	大学	短大	高校	幼稚園
本務教員		27名	10名	56名	9名
兼務教員		36名	23名	32名	2名
本務職員	4名	16名	7名	6名	
兼務職員		4名	2名	9名 嘱託職員含む	3名

※人事異動等については、平成25年9月末日現在の教職員紹介(別冊)でご確認下さい。

附属高校				事務局
専任	専任	専任	非常勤	事務職員
				
飯野由莉香 (理科)	大原真紘 (英語)	登坂沙弥 (英語)	高橋和馬 (商業)	須川和美 学生支援・総務 グループ(学生担当)
非常勤	非常勤	非常勤	事務職員	事務職員
				
平方孝 (数学)	丸山瑠美 (理科)	山田未来 (数学)	宮寺和也 キャリアサポート室	中野陽子 保健室担当

退職者(大学)

専任教育職員 萩野雅司
佐藤敏久
梶田ひかる
兼任教育職員 萩野逸郎
杉山維彦
佐藤誠
八木美保子

退職者(短期大学部)

専任教育職員 山本美穂子
美登暁子
兼任教育職員 小泉裕美
田代直穂美
神尾直子

退職者(附属高校)

専任教育職員 関口宏朗
永岡諒祐
非常勤講師 佐藤信輔
原口八重子
松澤充隆
深代牧子
専任事務職員 佐野務

※幼稚園の平成25年度新任・退任に係る教職員はおりませんでした。

平成24年度 財務状況

学校法人高崎商科大学 平成24年度決算報告

平成24年度決算につきましては、平成25年5月29日開催の理事会にて承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き「正常状態」に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の充実に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成24年度の資金収支状況について、収入は合計で4,952,319千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入及び雑収入等で増加したものの、手数料収入、寄付金収入、資産運用収入、事業収入等が減少したことで、予算に対しては57,018千円の減収となりました。一方、支出は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したため、次年度繰越支払資金は予算に対し39,487千円増加し、2,330,830千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,475,855,780	1,475,908,550	△52,770	人件費支出	1,210,899,419	1,209,310,912	1,588,579
手数料収入	55,010,000	53,986,680	1,023,320	教育研究経費支出	467,266,840	461,739,738	5,527,102
寄付金収入	19,185,000	19,176,864	8,136	管理経費支出	140,344,075	131,519,687	8,824,388
補助金収入	546,430,125	548,025,325	△1,595,200	借入金等利息支出	4,484,855	4,484,855	0
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381	借入金等返済支出	27,770,000	27,770,000	0
資産売却収入	250,525,000	250,525,000	0	施設関係支出	340,374,449	335,251,949	5,122,500
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439	設備関係支出	54,405,029	51,690,291	2,714,738
雑収入	36,380,500	36,593,228	△212,728	資産運用支出	402,070,000	402,070,000	0
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0	その他の支出	44,204,334	15,598,951	28,605,363
前受金収入	258,849,000	255,198,500	3,650,500	〔予備費〕	44,908,686		44,908,686
その他の収入	238,108,037	203,812,562	34,295,475	資金支出調整勘定	△18,733,560	△17,947,020	△786,540
資金収入調整勘定	△265,038,750	△283,582,405	18,543,655	次年度繰越支払資金	2,291,343,437	2,330,830,065	△39,486,628
前年度繰越支払資金	2,060,473,944	2,060,473,944		支出の部合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208
収入の部合計	5,009,337,636	4,952,319,428	57,018,208				

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態を明らかにし、これにより経営状況を把握するための書類です。

(企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。)

平成24年度の帰属収入合計は、予算に対して2,923千円増の2,170,913千円となりました。また、基本金組入額は、予算に対し7,927千円減の118,448千円となりました。この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比10,850千円増の2,052,465千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対し37,365千円減の1,991,109千円となりました。

これらの結果、平成24年度の消費収支差額(=消費収入-消費支出)は、61,356千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の346,846千円を加えた翌年度繰越消費収入超過額は、408,202千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,475,855,780	1,475,908,550	△52,770	人件費	1,218,481,491	1,216,892,912	1,588,579
手数料	55,010,000	53,986,680	1,023,320	教育研究経費	620,196,840	614,446,354	5,750,486
寄付金	19,825,000	19,565,383	259,617	管理経費	147,785,666	138,959,848	8,825,818
補助金	542,726,775	548,025,325	△5,298,550	借入金等利息	4,484,855	4,484,855	0
資産運用収入	21,969,000	21,608,619	360,381	資産処分差額	9,315,007	9,315,3007	0
資産売却差額	525,000	525,000	0	徴収不能額	7,009,700	7,009,700	0
事業収入	11,590,000	10,592,561	997,439	〔予備費〕	21,200,385		21,200,385
雑収入	40,488,320	40,701,048	△212,728	消費支出の部合計	2,028,473,944	1,991,108,676	37,365,268
帰属収入合計	2,167,989,875	2,170,913,166	△2,923,291	当年度消費収入超過額	13,140,853	61,356,225	
基本金組入額合計	△126,375,078	△118,448,265	△7,926,813	前年度繰越消費収入超過額	346,845,741	346,845,741	
消費収入の部合計	2,041,614,797	2,052,464,901	△10,850,104	翌年度繰越消費収入超過額	359,986,594	408,201,966	

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成24年度末の資産総額は、10,028,764千円で前年度末に比べ486,600千円増加しました。また、負債総額は、983,385千円で前年度末に比べ306,795千円増加しました。資産の部は、有形固定資産が206,113千円の増加、その他の固定資産が16,825千円増加し、固定資産全体では7,618,985千円となり前年度に比べ222,938千円増加しました。また、流動資産は2,409,779千円で前年度に比べ263,661千円増加しました。負債の部は、固定負債が640,631千円で前年度に比べ274,209千円の増加、流動負債は342,753千円で前年度に比べ32,587千円増加しました。基本金の部は、合計で8,637,177千円となり、前年度に比べ118,448千円増加しました。

これらの結果、消費収支差額は前年度に比べ61,356千円増加し、翌年度繰越消費収入超過額は408,202千円となりました。なお、資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は9,045,379千円で、前年度に比べ179,804千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,618,985,234	7,396,046,739	222,938,495	固定負債	640,631,290	366,422,730	274,208,560
有形固定資産	6,157,601,497	5,951,488,468	206,113,029	長期借入金	522,160,000	249,930,000	272,230,000
土地	2,470,403,047	2,470,350,469	52,578	退職給与引当金	118,097,385	114,623,205	3,474,180
建物	2,644,990,037	2,709,011,732	△64,021,695	長期未払金	373,905	1,869,525	△1,495,620
建物附属設備	131,278,619	104,205,335	27,073,284	流動負債	342,753,474	310,166,878	32,586,596
構築物	189,347,129	201,351,068	△12,003,939	短期借入金	27,770,000	27,770,000	0
教育研究用機器備品	96,622,606	112,119,413	△15,496,807	前受金	255,198,500	226,722,750	28,475,750
その他の機器備品	5,520,820	6,947,696	△1,426,876	その他	59,784,974	55,674,128	4,110,846
図書	334,340,756	333,481,917	858,839	負債の部合計	983,384,764	676,589,608	306,795,156
車輛	11,231,483	7,175,838	4,055,645	基本金の部			
建設仮勘定	273,867,000	6,845,000	267,022,000	科目	本年度末	前年度末	増減
その他の固定資産	1,461,383,737	1,444,558,271	16,825,466	第1号基本金	8,444,240,542	8,326,792,277	117,448,265
有価証券	1,197,487,000	1,197,487,000	0	第3号基本金	49,936,631	48,936,631	1,000,000
退職金引当預金	147,000,000	147,000,000	0	第4号基本金	143,000,000	143,000,000	0
第3号基本金引当資産	49,936,631	48,936,631	1,000,000	基本金の部合計	8,637,177,173	8,518,278,908	118,448,265
特定支出引当特定資産	25,070,000	21,000,000	4,070,000	消費収支差額の部			
その他	41,890,106	30,134,640	11,755,466	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,409,778,669	2,146,117,518	263,661,151	翌年度繰越消費収入超過額	408,201,966	346,845,741	61,356,225
現金預金	2,330,830,065	2,060,473,944	270,356,121	消費収支差額の部合計	408,201,966	346,845,741	61,356,225
その他	78,948,604	85,643,574	△6,694,970	科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部合計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,028,763,903	9,542,164,257	486,599,646

学園情報

学園全体

学園表彰

高校の田村 彰先生は、平成25年度群馬県私立学校教員等永年勤続者顕彰に決定し、7月11日(木)に行われた顕彰の伝達式(ラシーネ・前橋市)に出席されました。この受賞を受け、学園におきましては25年の永きに亘り学園の教育職員として職責を果たした功績は多大であるとして、7月12日(金)、高校の教職員全員の前で森本理事長より金一封を贈り表彰式(学園表彰)が行われました。



田村 彰先生

学園全体

下村博文文部科学大臣が大学に来校!!

平成25年7月17日午後2時15分、しもむら ほうぶん下村博文文部科学大臣が要人警護のSPに囲まれながら本学園に来校されました。今回の下村文部科学大臣の来校は、公益財団法人群馬県私学振興会の理事長を務める本学園理事長(森本純生氏)あてに下村文部科学大臣より7月17日(水)に訪問したい旨の連絡がありました。しかしながら、当日は午前中に大学で学園の法人役員会を開催する予定であったことから、法人役員会終了後、下村文部科学大臣が大学に来校することになりました。

群馬県の私立学校の理事長等をメンバーとする公益財団法人群馬県私学振興会は当日、森本理事長(私学振興会)を中心に群馬県の私立学校教育の振興のため、予定時間を過ぎるほど熱心に陳情していました。



文部科学大臣を囲んで

学園全体

萩野雅司教授が名誉教授に!

萩野雅司教授は平成25年3月に定年退職されましたが、永年に亘り専任教授として勤務され、教育上、学術上特に功績があったとして、名誉教授称号授与規程に沿って、しげの まさし萩野雅司教授称号の候補者として教授会に提案し、了承されました。受賞式は、平成25年8月5日(月)午後1時から学内で行われました。



萩野雅司教授

学園全体

定年退職者の再雇用に関する規程の改訂について

平成25年3月27日に行われた法人役員会において、本学園の定年退職者の再雇用に関する規程が次のように改訂されました。

平成24年8月29日、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部が改訂されました。主な内容は、年金の支給年齢が60歳から段階的に65歳まで引き上げられることから、定年後無収入となる期間が生じないよう

にするため、希望すれば定年退職者全員を再雇用の対象とするものです。本学園においては、平成25年4月1日より施行されました。

本学園の給与は、県の行政職・学校教育職に準拠した給与表を使用しておりますが、再雇用の場合の給与についても給与表に掲載いたしましたので、ご確認いただきたいと思います。

大 学

地（知）の拠点整備事業について

高崎商科大学商学部 学部長 竹上 健

「地（知）の拠点整備事業」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、平成25年度から文部科学省（以下、文科省）が実施した支援事業です。

平成25年4月18日（木）に、文部科学省東館3F講堂のみの会場で申請に関する説明会が開催され、その5週間後の5月22日（水）と23日（木）の2日間のみが申請受付日という極めて急を要するものでしたが、商学部ライトウ山崎教授、短期大学部高橋修学科長、キャリアサポート室森本圭祐室長、法人総務課松田禎史課長と私の計5名で35ページ渡る申請書を作成して受付初日に提出しました。

申請は、大学等を単位としたもので、学部や学科、研究科や研究科の専攻の単位で申請することはできないものです。また、共同申請として複数の大学が連携

して申請することも可能でしたが、本校は長年に渡るこれまでの地域との連携活動の実績から単独の申請を行いました。7月1日（月）に書類審査に合格し面接に関する通知を受けました。7月18日（木）に文科省での面接審査に臨み、8月2日（金）に採択が発表されました。

文科省の発表では、総申請数は全大学等の約1/4にあたる319件（342大学・短期大学・高等専門学校）で、採択されたのは申請数の約1/6にあたる52件でした。また、採択校は全国38都道府県に広く展開されていますが、未採択都道府県が9県存在するとの事です。群馬県では、群馬大学、高崎経済大学、群馬県立女子大学、関東学園大学、群馬医療福祉大学、高崎商科大学の6大学が申請を行い、採択されたのは本校のみとなっております。

支援事業は平成25年9月から平成29年度末までの5ヶ年度となっており、毎年度審査を受け、成果があがっていない場合は補助金の減額や不交付となることから、全学をあげての事業展開が必須となっております。ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

附属高校

学校評価の考え方が変わりました

高崎商科大学附属高等学校 副校長 金井 誠

第1回学校関係者評価委員会は平成25年6月15日、職員・評価委員の出席の下、附属高校大会議室で行われました。

学校評価の目的は、生徒がより良い教育を享受できるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すためのものですが、今回の第1回学校関係者評価委員会は、学校評価の考え方がこれまでのとらえ方と変わることによる、新たな取り組みです。

これまでの学校評価は、学校が行う「内部評価」に

対し、保護者などの学校外の方々から得られる評価や意見を「外部評価」としてきましたが、学校教育法等の改訂から学校評価ガイドラインが改訂され、実施方法としてこれまでの内部評価は「自己評価」（教職員が行う評価）に、外部評価は「学校関係者評価」（保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価する）と「第三者評価」（学校と直接関係しない専門家による客観的な評価）に整理されました。

保護者や地域住民と連携・協力しながら教育の質の向上を図る取組みがスタートしました。

学園情報

附属高校

2013 未来をつなぐ北部九州総体(インターハイ)、全国大会結果

クラブ名	期日	開催場所	成績
空手道部	8月7日 ～ 8月9日	長崎県佐世保市 体育文化館	<ul style="list-style-type: none"> ・女子団体組手 3回戦敗退 ・女子個人形 清水 那月 (F1-9) 2回戦敗退 ・男子個人形 佐伯 魁莉 (F3-6) 1回戦敗退 ・女子個人組手 白根 伽奈 (F3-8) 3回戦敗退 中 藍香 (F3-10) 2回戦敗退 ・男子個人組手 小峯 仁志 (F3-10) 3回戦敗退 山田龍太郎 (F1-5) 3回戦敗退
アーチェリー部	8月2日 ～ 8月5日	佐賀県武雄市 白岩運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・男子個人 石田 拓実 (F3-2) 58位 堀口 祐太 (F2-7) 113位 山本 新 (S2-1) 107位 深町 圭 (S2-1) 182位 ・男子団体 23位 ・女子個人 遠間あずさ (F3-7) 26位 武井 智恵 (F3-5) 97位 荒井 彩香 (F3-8) 55位 長壁 千笑 (F3-6) 142位 ・女子団体 15位
フェンシング部	8月3日 ～ 8月7日	大分県日田市 総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・女子個人フルール 小林 亜美 (F3-8) 6位入賞 高橋 伊吹 (F3-9) 2回戦敗退 ・女子個人サーブル 高橋 伊吹 (F3-9) ベスト16 ・女子学校対抗 ベスト8 (小林亜美 (F3-8)・高橋 伊吹 (F3-9)・樺澤有紗 (F3-11)・新井はるか (F2-11)・登坂梨乃 (F1-10))
囲碁部	7月23日	東京日本棋院 会館	第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 <ul style="list-style-type: none"> ・女子団体戦 一次リーグ 敗退
	8月3日 ～ 8月4日	長崎県時津町 コスモス会館	第37回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 <ul style="list-style-type: none"> ・県混合団体戦 五十嵐のぞみ (F3-1) 27位
放送部	8月3日 ～ 8月5日	長崎県 諫早文化会館	第37回全国高等学校総合文化祭放送コンクール <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオメッセージ部門 「二人の愛情豆腐」 ・オーディオピクチャー部門 「だるまに愛を込めて」 文化連盟賞受賞

大学

和式トイレから洋式トイレへの改修工事について

昨年、学内から「洋式トイレが少ないので増やしてほしい」との要望がありました。このことから、和式、洋式トイレの比率を「TOTO(株)」の資料(出荷時の和式・洋式トイレの比率)から確認してみたところ、1960年代には和式の占める割合が約80%だったものが、1976年には和式・洋式とも50%に、1980年代には約8割が洋式に変わり、現在では住宅の新築・改修工事のほぼ100%が洋式となっていることが分かりました。

このため、昨年度より和式トイレから洋式トイレへの改修工事を段階的に進めており、昨年度は26台を洋

式トイレに改修いたしました。これにより、大学構内にあるトイレ(大便器)104台の内、洋式トイレを22台から48台に増やすことができ、洋式トイレの占める割合を全体の46%(洋式48台/全体104台)まで引き上げることができました。

しかしながら、現在の住宅の新築・改築のほぼ100%は洋式トイレとなっていることから、今年度はさらに12台を洋式トイレに改修することで、洋式トイレの占める割合を全体の58%(洋式60/全体104)まで引き上げました。

平成25年度 学園カレンダー

月	佐藤幼稚園	附属高校	大学・短期大学部
9月	2日 入園受付日 3日 二学期始業式 12日 避難訓練 13日 コスモスオープンディ (祖父母茶道) 27日 栗拾い(年長のみ)	2日 始業式 7日 商大・短大選考試験3年 9日 第2回進学推薦会議 11日 狂言鑑賞教室 14日 オープンスクール 25日 商大・短大推薦会議	2日 大学・大学院 全校登校日 3日 短大 全校登校日 8日 オープンキャンパス 9日～10日 追試期間 12日 3年次編入・大学院一般I期 等入試 13日 後期授業開始
10月	5日 大運動会 15日 保育参観(年長) 17日 保育参観(年少) 22日 保育参観(年中)	2日 第3回進学推薦会議 8日～11日 中間考査 12日 フリートライアルテスト	5日～6日 県私立スポーツ大会 26日～27日 彩霞祭
11月	3日 お祭り・バザー 11日 お弁当の日 22日 学園記念日 29日 避難訓練	3日 文化の日、吹奏楽定期演奏会 6日～7日 球技大会 10日 生徒保護者対象入試説明会 21日 防災訓練 22日 学園記念日	6日 大学・短大推薦入試I期等入試 16日 入試説明会 22日 学園記念日
12月	17日 おもちつき 19日 クリスマス劇鑑会(園児のみ) 20日 二学期終了式 24日 冬休み	3日～6日 期末考査 6日 第9回学校保健委員会 9日 第2回授業アンケート 21日 終業式	18日 大学・短大推薦入試II期等入試 24日 冬季休業開始
1月	8日 三学期始業式 10日 避難訓練 25日 お遊戯会	7日 始業式 12日 推薦・推特入試 13日 学業特別奨学生I期入試 18日～19日 大学センター試験 21日～27日 3年学年末試験 23日 学業特別奨学生II期入試	5日 冬季休業終了 18日～19日 大学入試センター試験 27日 後期授業終了 28日～31日 補講日
2月	3日 お弁当の日 6日～7日 希望者個人面談 13日 保育参観(年少) 14日 保育参観(年中) 28日 ママと一緒に(バニー)	2日 一般入試 3日～5日 授業公開 8日～12日 修学旅行(国文コース) 9日～13日 修学旅行(前班) 10日～14日 修学旅行(後班) 21日 予餞会 22日 商大杯(空手道・バレーボール)	1日 大学・短大 一般入試A日程等入試 3日～8日 後期試験 10日～14日 集中授業期間 15日 大学・短大・大学院 一般入試B日程等入試 17日 大学・短大・大学院 追試手続 20日 成績発表 22日 再試手続 26日～28日 追再試期間
3月	1日 入園説明会 7日 避難訓練 15日 第46回卒業式 20日 修了式	1日 第65回卒業式 4日～7日 1・2年学年末考査 24日 終業式	7日 大学・短大・大学院 卒業・修了判定会議 15日 大学・短大 一般入試C日程等入試 20日 卒業式 修了式

大学・短大

公開講座

●自分に似合うカラーを見つけよう

9月7日 土曜日 13:30~15:00

参加費：500円 定員：50名 受付開始：8月1日

講師：立川由香（株式会社エディー・パウアー・ジャパン）

●プチ哲学講座 ～絵本を見ながら語り合いましょ！～

9月14日土曜日 13:30~15:30

参加費：500円 定員：30名 受付開始：8月1日

講師：加寿 明（株式会社家族会議 副社長、研修講師）

●笑いのコミュニケーション学（全2回）

10月19日、11月2日 土曜日10:30~12:00

参加費：2回で1000円 定員：50名

受付開始：9月1日

講師：瀬沼文彰（西武文理大学 兼任講師）

●温泉宿をとおして見るホントのサービス

11月2日、9日 土曜日13:30~15:00

参加費：2回で1000円 定員：50名

受付開始：10月1日

講師：坂本 章（高崎商科大学 准教授）

●あなたもストレスに強くなれる

11月9日、16日 土曜日10:30~12:00

参加費：2回で1000円 定員：50名

受付開始：10月1日

講師：高橋 修（高崎商科大学短期大学部 学科長）

●現代の医療制度について

12月7日 土曜日 13:30~15:00

参加費：500円 定員：50名 受付開始：11月1日

講師：下田順子（高崎商科大学短期大学部 特任講師）

●仕事に活かす傾聴講座

12月14日 土曜日 13:30~15:30

参加費：500円 定員：30名 受付開始：11月1日

講師：大井宗太郎（高崎商科大学短期大学部 兼任講師）

■連絡先 高崎商科大学 公開講座係
〒371-1214 群馬県高崎市根小屋町741
TEL 027-347-3399

高校

フリートライアルテスト 10/12(土)

無料体験模試で本番入試を体験しよう！

実際の入学体験の状況（国・数・社・理・英）が擬似体験できます。ぜひ参加してみてください。尚、参加者は必ず上履き、筆記用具、昼食を持参してください。

〈試験会場〉高崎商科大学附属高等学校

〒370-0803 群馬県高崎市大橋町237-1

TEL 027-322-2827(代) FAX 027-328-7591

〈受験者の携行品〉

履き、筆記用具、コンパス、目盛り付き三角定規（ただし、長さを示す目盛り以外に公式や角度等の記入してあるもの、計算機付き時計は使用できない。）、昼食

〈申込み締切日〉10月3日(木)まで

〈申込み方法〉

お申込みは、ハガキ、電話、FAX、Eメールにて受け付けております。氏名、中学校名、住所、性別を記入の上、申し込みしてください。◎併願校順位も出ます。

佐藤幼稚園

「コアラくらぶ」受付中!! (親子登園 入園前)

園ではコアラくらぶ(親子登園)を開設しております。

子育て支援の一環および「保護者同士の楽しい子育て交流をはかり、親子で遊べる機会を園で」との思いにより、就園前の幼児と保護者を対象に「コアラくらぶ」(親子登園)を開設しております。

本園職員の指導のもと、コアラくらぶで安心して本園との関わりを持って頂くことより、お子様が安定した状態で入園の日を迎えられるよう、就園前の社会生活の第一歩を親子で体験して頂きたいと思っております。

■連絡先

高崎商科大学さとう幼稚園

〒370-0803 高崎市大橋町18-1

TEL 027-323-9512

学園広報誌「商大」

2013年9月30日発行

学校法人 高崎商科大学

総務課(広報係)